

第六次計画の指標から

継続：7

新規：9

削除：7

第七次男女共同参画基本計画における成果指標（案）

評価指標				第6次計画		第7次計画			継続：目標値の根拠 新規：設定理由、目標値の根拠 削除：削除理由
主要課題	分類	指標	出典	第6次策定時 （調査年度）	目標値 （目標年度）	第7次策定時 （調査年度）	目標値 （目標年度）	（参考） 国・県目標値 （調査年度）	
主要課題1	継続	固定的役割分担意識を否定する人の割合 （男女共同参画課）	男女共同参画意識調査	58.2% 平成30年度	増加 令和5年度	69.3% （達成） 令和5年度	75% 令和10年度	70.0% 令和7年度	平成26年度から令和5年度の10年間で15.2ポイント増加しており、この増加率を用いて目標値を算出した。 なお、第五次総合計画でも同様の根拠から、令和12年度75%、令和17年度85%を目標とする指標を設定予定。
主要課題2	削除	男女共同参画に関する教職員向け研修の回数	教育指導課調べ	年1回 令和元年度	年1回 令和7年度				事業指標に該当する指標であるため削除。
	新規	分野別男女平等感【教育の場】で「平等になっている」の割合 （男女共同参画課）	男女共同参画意識調査			61.5% 令和5年度	70% 令和10年度	-	教育の場における男女平等感により、教育における男女共同参画推進の達成度を測る。 平成26年度から令和5年度の10年間で7.1ポイント増加しており、この増加率を用いて目標値を算出した。 【参考】H26:53.4%、H30:59.3%、R5:61.5%
主要課題3	継続	性的マイノリティ（LGBT等）の言葉の認知度 （男女共同参画課）	男女共同参画意識調査	60.0% 平成30年度	増加 令和5年度	51.3% （未達成） 令和5年度	70% 令和10年度	-	令和5年度調査の結果、年齢別で最も割合が高かった20代69.7%の水準を目標値とした。 【参考】H30:60.0%、R5:51.3%
主要課題4	継続	自治会長のうち、女性が占める割合 （地域づくり推進課）	地域づくり推進課調べ	4.1% 令和元年度	増加 令和7年度	5.5% （達成） 令和5年度	10% 令和12年度	10% 令和7年度	参考の目標値10%は国の男女共同参画基本計画指標であり、同値を目標値とした。
主要課題5	継続	各種審議会等における女性の登用率 （男女共同参画課）	男女共同参画課調べ	28.6% 令和2年度	40.0% 令和7年度	31.0% （未達成） 令和7年度	42% 令和12年度	42.0% 令和8年度	「埼玉県男女共同参画基本計画」及び「埼玉県5か年計画」において、令和8年度までに42.0%とする目標値を設定しており、同値とした。
	継続	市の女性管理職（課長級以上）の割合	川越市女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画（後期計画）に基づく取組の実施状況及び女性の職業選択に資する情報の公表について	12.0% 令和2年度	15.0% 令和7年度	13.4% （未達成） 令和6年度	15% 令和7年度	- 令和7年度	※目標値の年度が令和7年度であり、今後、令和12年度付近の数値を要聴取予定。

評価指標				第6次計画		第7次計画			継続：目標値の根拠 新規：設定理由、目標値の根拠 削除：削除理由
主要課題	分類	指標	出典	第6次策定時 (調査年度)	目標値 (目標年度)	第7次策定時 (調査年度)	目標値 (目標年度)	(参考) 国・県目標値 (調査年度)	
主要課題6	継続	市男性の育児休業の取得率 (1週間以上) (職員課)	川越市女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画(後期計画)に基づく取組の実施状況及び女性の職業選択に資する情報の公表について	20.0% 令和2年度	20.0%以上 令和7年度	62.9% (達成) 令和5年度	85% 令和7年度	50.0% 令和7年度	※目標値の年度が令和7年度であり、今後、令和12年度付近の数値を要聴取予定。
	削除	保育園の待機児童数 (保育課)	川越市子ども計画	2人 令和2年度	0人 令和7年度	8人 (未達成) 令和5年度	0人 令和11年度	0人 令和9年度	待機児童は地域差や家庭の方針等により、必ずしも枠の充実に解消できるものではないため削除。 小学生児童の居場所も課題として挙げられるが、現時点で待機が0となっているため本計画の指標では不採用
	新規	父親の育児休業の取得状況 (こども政策課)	子ども・子育て支援に関するアンケート調査			19.0% 令和5年度	30% 令和10年度	30% 令和7年度	参考の目標値は国の男女共同参画基本計画指標。 国の制度改正等により育児休業の取得促進が進む社会背景を鑑み、主要課題6の成果指標は育休に関連するものとする。平成25年度から令和5年度の10年間で17.2ポイント増加しており、この増加率を用いて目標値を算出した。【参考】H25:1.8%、H30:4.2%、R5:19.0%
主要課題7	削除	男女共同参画推進施設における就労支援講座の時間数	男女共同参画課調べ	191.5時間 令和元年度	190時間以上 令和7年度				事業値であるため削除。
	新規	勤務先の女性の労働環境で「不平等はない」の割合 (男女共同参画課)	男女共同参画意識調査			46.7% 令和5年度	50%以上 令和10年度	-	平成25年度から令和5年度の10年間で7.3ポイント増加しており、この増加率を用いて目標値を算出した。 【参考】H25:39.4%、H30:42.4%、R5:46.7%
主要課題8	削除	女性の視点を取り入れた備蓄品の配置状況 (防災危機管理室)	川越市地域防災計画	59か所 令和元年度	63か所 (全避難所) 令和7年度				事業値であり、また令和6年度に目標を達成したため削除
	新規	女性消防団員の人数 (消防局消防総務課)	消防総務課調べ			21人 令和7年度	25人 令和12年度	-	消防団員の女性人数の増加により、多様な視点を防災や災害対応に取り入れ、男女共同参画の視点に立った防災対策につながるため設定。また、目標値25人は定員数。
主要課題9	削除	母子家庭等就業・自立支援センター事業の延べ利用者数 (こども家庭課)	子ども家庭課	166人 令和元年度	300人 令和7年度				事業値であるため削除。
	新規	幸福だと感じている高齢者の割合 (地域包括ケア推進課)	川越市高齢者等実態調査			43% 令和4年度	43.1%以上 令和12年度	-	※第五次総合計画(策定中)から指標及び目標値を引用。 高齢者が自身の能力・意欲を発揮し社会に参加できる環境づくりが男女共同参画社会に求められることから、社会参加と関連のある幸福度を指標として設定。
	新規	一般就労への移行者数 (障害者福祉課)	主管課調べ (Webrings EUC)			21人 令和3年度	29人 令和12年度	-	※第五次総合計画(策定中)から指標及び目標値を引用。 障害者が自立し希望した進路に進む機会提供の検証のための指標として設定。

評価指標				第6次計画		第7次計画			継続：目標値の根拠 新規：設定理由、目標値の根拠 削除：削除理由
主要課題	分類	指標	出典	第6次策定時 (調査年度)	目標値 (目標年度)	第7次策定時 (調査年度)	目標値 (目標年度)	(参考) 国・県目標値 (調査年度)	
主要課題10	削除	乳がん・子宮がん検診の受診者数 (健康管理課)	健康管理課調べ	乳がん 6,031人 子宮がん5,159人 平成30年度	乳がん 増加 子宮がん 増加 令和7年度	乳がん 5,098人 子宮がん5,821人 (未達成) 平成30年度	乳がん 増加 子宮がん 増加 令和7年度	-	事業に対するニーズを表した指標であるため、参考指標が妥当と判断し削除。
	新規	65歳からの健康寿命 (健康づくり支援課)	埼玉県衛生研究所データ			17.99年:男性 20.75年:女性 令和6年度	17.99年以上:男性 20.75年以上:女性 令和12年度	18.50年:男性 21.28年:女性 令和8年	※第五次総合計画(策定中)から指標及び目標値を引用。 健康寿命の延伸は、豊かで充実した人生を送るための基盤となり、また、ケア労働負担の軽減にもつながることから設定。
主要課題11	新規	「市の情報提供に対する満足度」のうち、『提供されている』と感じる女性の割合 (広聴課)	市民意識調査			82.4% 令和6年度	85% 令和12年度	-	支援を必要とする女性が、情報を得られているかという観点から、市からの情報が提供の満足度を設定。 令和3年度から令和6年度の10年間で2.9ポイント増加しており、この増加率を用いて目標値を算出した。 【参考】R3:79.5%、R6:82.4%
	新規	生活(こころと体、家庭、法律、くらしなど)に関する様々な相談窓口があることの認知度 (保健予防課)	自殺対策に関する意識調査			58.6% 令和4年度	70% 令和10年度	-	支援を必要とする方が支援に繋がることができるよう、相談窓口の認知度の向上は重要であるため設定。目標値は第二次川越市自殺対策計画より引用。 【参考】H30:56.3%、R4:58.6%
主要課題12	削除	関係機関との連携会議の開催回数	男女共同参画課調べ	年4回 令和元年度	年4回 令和7年度				事業値であるため削除
	継続	DV相談先の認知度 (男女共同参画課)	男女共同参画意識調査	54.0% 平成30年度	80% 令和5年度	55.1% 令和5年度	80% 令和10年度	-	次回の男女共同参画意識調査から、相談先を「知っている/知らない」の2択の質問を新規に設定予定。 参考値として平成30年度及び令和5年度調査は「100-知らない-無回答」を記載。目標値は第6次計画を引き継ぐ 【参考】H25:57.0%、RH30:54.0%、R5:55.1%